平成２４年度 指定管理者モニタリングレポート

施 設 名	四日市市障害者自立支援施設　共栄作業所
所 在 地	四日市市西日野町４０７０番地１
指定管理者	名　称　　社会福祉法人　四日市市社会福祉協議会 代表者　　会長　伊藤　八峯 住　所　　四日市市諏訪町２番２号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課（問合せ先）	健康福祉部障害福祉課 ＴＥＬ：０５９－３５４－８１７１ Ｅ－mail：syougaifukushi@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

共栄作業所は平成23年4月に知的障害者授産施設から障害者自立支援施設へ移行し、事務量が増加しましたので、平成24年度から職員を1名増やし体制を強化しました。通所する障害者（以下「利用者」という。）に日中支援と、就労継続B事業所としての職業を提供し、また職場見学など多様な機会の提供を行いましたので、利用者や保護者は満足されていました。

新法移行については、平成22年度から利用者や保護者と協議を重ね、保護者の要望を受け入れる形で就労継続B事業を選択しましたので、利用者等の社会福祉協議会に対する信頼は厚く、今年度も施設内外活動に活発に参加されていました。

また、保護者と施設側が連携を重ね、より良い個別支援に繋げてきた実績から、環境変化に適応しにくい利用者が年々地域社会との接点を増やし、周囲の学校や地域に受け入れられるようになっています。今まで関わりのなかった分野の人々にも、障害特性を理解し地域の支援者になってもらうために、時間と手間のかかる地道な活動ではありますが、今後も拡げていただきたいと希望します。

利用者が地域で生活していくためには、利用者等の高齢化問題は避けて通れず、近鉄西日野線の廃止案等の地域社会の変動要因も踏まえ、柔軟な運用形態を検討していく必要性が高まっています。将来に向けた施設運営を検討するには、運営委員会等のあり方も含めて、社会福祉協議会が地域で培った信頼と人材を活かし、様々な視点から話し合いを重ねられるよう期待します。

さて、今年度の事業収支においては、人件費の増加による決算額の増額はあるものの、費用対効果や優先順位を考慮して、管理費の支出を計画的に支出するなど、経費は概ね計画的に執行され安定した財務状況にありました。

施設の維持管理についても、緊急性の高いものから優先的に修繕し、また職場環境改善の目的で市と協議を重ね、別館のトイレ設置に繋げるなど、適切な実施状況でした。施設の老朽化による修繕費や備品の買換が今後も増加する事を踏まえ、更に計画的な施設運営が求められますが、総合的に判断して良好と評価します。

管理運営においては、平成24年度の稼働率が79.6％と昨年より若干低下していますので、公の立場を踏まえ新たな利用者拡大につながるよう、今後の活動に期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

・当施設は定員の空きがあるため、公の立場を踏まえた上で、新しい利用者の確保に努めること。
・利用者が次なるステップを見出せるように保護者とも十分協議しながら、自立と社会参加を促進するために必要な生活訓練や職業訓練等を提供するなど、充実した施設運営がなされること。
・利用者の高齢化や地域社会の変動要因も踏まえ、今後の施設運営等について様々な角度から検討していくこと。
・景気の低迷から授産活動に支障の出ることのないよう努めること。
・事業の安定した継続と信頼の維持のため、職員の専門性をさらに高め、技術の向上を一層考慮されること。
　また、職員間の情報共有を図り、危機管理意識を持つこと。
・ハード面では、障害のある方々が安心・安全に利用できるよう、引き続き施設の維持管理に努められること。
・個人情報の取扱については、資料及びデータ管理の徹底、パソコン及び周辺機器のセキュリティ対策を引き続き行うこと。

基本的な考え方（施設の性格･目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

授産活動を通して集団の中で働くことの意義を見出すとともに社会との繋がりを肌で感じ、併せて授産工賃を得ることで働く喜びを知り、適切な支援のもと豊かな生活経験の場を広め自立の道を図るという、施設の目的に沿った支援方針に基づき実施され、適切に管理運営が行われていました。
施設運営や利用者への対応については、利用者やその保護者から高い信頼を得た中で、公正に運用されていました。
また、指定管理者としての特性を生かし、法人が実施している相談事業やボランティアセンターなど各種サービスや、民生委員・地区社協・学校等の関係団体と有機的な連携を図り、福祉体験等の機会を提供するなど、障害者自立支援施設として一定の成果がありました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

新しい事業体系のもとで、利用者は保護者等の支援を受けてそれぞれが通所し、利用者一人ひとりに合わせた支援を受けながら、一緒に働く喜びを感じており、適正かつ柔軟な管理運営が実施されていました。
平成24年度も「さをり織り展示会」を開催して、「さをり織り」の体験と実演を通じて、さをり織りの普及に努める共に障害者理解の啓発に努め、売上収入を大きく伸ばしました。
施設外では、自主製品の販売促進のため、福祉の店行事・市民芸術文化祭・人権フェスタ・四郷地区文化祭や病院の場などに参加し、また個人や団体・ボランティアと連携を図り、作業への協力や地域等との交流会を通して、利用者と交流できる場を設けていました。授産事業では、全国社会就労センター協議会の承認を受け、企業との連携で実現した「まぼろしの菜種油」の受託作業にも、引き続き努力し工賃アップにつなげていました。
業務内容については、法令・条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、当施設の目的を果たすため適切に運営されていました。施設の維持管理については、法人管理部門でも確認しながら、担当課と連絡調整会議を密にし、課題を共有しました。
また、施設サービス運営委員会を定期的に開催し、意見交換会を行うなどサービスの質の向上に努める姿勢が見られました。
作業支援の質の確保のために、自主製品（さをり織り）作業の新規者を養成し、支援体制を整備しました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

受託金収入や、事業費や人件費など、施設管理費等の支出について適正に処理し、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。また、毎日の利用者の日課や年間行事、施設の保守点検等に関する書類もよく整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

情報管理については、パソコンとデータバックアップ用にそれぞれパスワードを設置し、鍵付保管庫に保管するなどの対策が徹底されていました。日常から施設内を点検し、修繕箇所の早期発見と対応が適切に行われ、また防災に関しては、西日野福祉ゾーン合同防災会議を定期的に開催して緊急時の協力体制の構築につとめ、施設内では毎月１回、緊急地震速報端末を利用し、火災・地震それぞれの避難訓練を行いました。また毎月１回、自主防災設備点検も定期的に実施されていました。各作業室には、利用者の数だけ防災頭巾が備えられ、災害時の非常用食料・防災用品も備蓄され、常に使用できるよう整備されていました。
防犯対策として、玄関には赤外線来客報知センサーを設置して不審者侵入の防止に努め、事務机及び金書庫の施錠を徹底すると共に、夜間・休日の警備は警備会社に管理を業務委託していました。不審者の侵入防止対策も継続されています。
感染症対策については、来所者用手指消毒用アルコールの設置・インフルエンザ予防接種の実施など、適切な対策が講じられていました。

社会性（環境等への配慮）

リサイクル解体作業を授産作業に取り入れ、日常的に環境問題が意識されていました。
また、廃棄物の処分などについては、処分してもらう業者にマニフェストを提出させるなど法令遵守の徹底がなされており、汚水処理についても適切に整備点検が行われていました。

事業収支

経済性

事業収支においては、施設の経営努力と法人の支援等で適正な範囲内で管理され、安定した財務状況にありました。

団体の経営状態

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書などを分析した結果、大きな問題は無く、社会福祉協議会の公共性からの財政基盤も含め、安定していると判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要　　　　平成24年度

施設名	四日市市障害者自立支援施設　共栄作業所		所管課:障害福祉課
所在地	四日市市西日野町４０７０番地１		設置年月: 昭和52年5月
設置目的	障害者自立支援施設として、通所する障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	障害者自立支援法、四日市市障害者自立支援施設条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積（㎡）	1200.00
		延床面積（㎡）	603.15
		作業室、事務室、相談室、医務室、和室、会議室、食堂、厨房、洗濯室等	
	事業概要	就労継続支援に関する事業（定員３７名） ⑴ 授産活動 【受注作業】贈答品箱詰め、製品飾り付け、リサイクル解体作業、点字刻印作業、アイトム農耕作業、割箸袋詰、紙製品加工作業 【自主製品作業】縫製、布ぞうり編み、さをり織り作業、組紐作業、ビーズ作業 ⑵ 生活経験、自立促進活動 ①利用者自治会による一人一役活動（朝礼係、花壇係等） ②サークル活動（おやつ作り、ダンス、美術等） ③一日外出　④社会実習　⑤一泊社会体験　⑥工場見学　⑦職場実習 ⑧地域交流　⑨ボランティア交流会　⑩市内小学生の福祉作業体験 ⑪福祉講演会　⑫クリスマス会 ⑶ 保健衛生・健康管理 ①医療相談　②健康診断　③身体測定 ⑷ 保護者・地域との連携 個別懇談・年度末懇談、「きょうえいつうしん」の発行、グループホーム、保護者会で制度説明	

2．運営状況

項目	実施計画	実施内容 （事業報告書）	計画対比
開館日数	２４４日	２４４日	計画通り
開館時間	8：30～17：00	8：30～17：00	計画通り

3．利用実績

項目		実施計画	実施内容 （事業報告書）	計画対比
延べ利用者数		9,028人	7,182人	△ 1,846
平均利用率	平均	－	79.6%	－

４．事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容（事業報告書）	
			計画対比
指定管理料	61, 300, 000	61, 300, 000	0
利用者給食代	2, 200, 000	2, 064, 900	△ 135, 100
職員等給食代	792, 000	839, 050	47, 050
寄付金・新事業移行促進事業収入	30, 000	42, 200	12, 200
雑収入	0	0	0
利息配当金	1, 000	3, 306	2, 306
繰入金収入	161, 000	161, 000	0
収入計	64, 484, 000	64, 410, 456	△ 73, 544
人件費	51, 176, 000	54, 948, 705	3, 772, 705
管理費	10, 082, 000	9, 189, 933	△ 892, 067
消耗品費	500, 000	562, 414	62, 414
燃料費	168, 000	181, 940	13, 940
印刷製本費	50, 000	85, 500	35, 500
光熱水費	2, 413, 000	1, 803, 665	△ 609, 335
修繕料	590, 000	539, 794	△ 50, 206
通信運搬費	290, 000	289, 264	△ 736
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	284, 000	332, 420	48, 420
委託料	853, 000	810, 068	△ 42, 932
賃借料	570, 000	491, 531	△ 78, 469
その他	4, 364, 000	4, 093, 337	△ 270, 663
事業費（ソフト事業等）	1, 826, 000	989, 647	△ 836, 353
一般管理費	2, 068, 000	2, 041, 832	△ 26, 168
支出計	65, 152, 000	67, 170, 117	2, 018, 117
収　支	△ 668, 000	＊ △ 2, 759, 661	△ 2, 091, 661

＊収支不足額については、法人・団体会計から繰り入れられています。

平成２４年度　共栄作業所　運営状況　チェックシート

１．運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	244日	244日	計画通り	計画通り開館された。	適
開館時間	8:30～17:00	8:30～17:00	計画通り	計画通り開館された。	適

２．利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	9,028人	7,182人	△1,846人	昨年の登録者数は３３名、今年度は３２名になった。体調不良等で通所できなかった利用者もいたため、７９．６％の稼動率になった。	適
稼働率	－	79.60%	－		適

３．事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	61,300,000	61,300,000	0	指定管理料と給食代以外に主な収入がないので、職員体制を強化するために法人本部から人件費を繰り入れて１名増員を図った。 今回の繰入は法人本部の経営方針であり適正であると判断する。	適
利用者給食代	2,200,000	2,064,900	△ 135,100		
利息配当金	1,000	3,306	2,306		
職員等給食代	792,000	839,050	47,050		
繰入金収入	161,000	161,000	0		
寄付金	30,000	42,200	12,200		
雑収入	0		0		
収入計	64,484,000	64,410,456	△ 73,544		
人件費	51,176,000	54,948,705	3,772,705	〔勤務体制：常勤10人、非常勤4人〕 （正職4人、嘱託5人、臨時4人、非常勤嘱託1人） 請求事務関係職員の異動を補い、就労支援職員の体制を強化するため、1名増員した。 利用者が通所する時間帯は障害特性に配慮して事故のないよう支援しているので、事務業務が必然的に時間外に及んでいる。 光熱費や委託料の抑制を図り、経費の節減に努めていた。 また、ソフト事業費の支出においては、バスを利用する社会見学から、公共交通機関を利用してルールやマナーを学ぶ社会見学に変更したため、結果的に交通費等の経費の抑制につながり、総額としては収入が支出を上回った。	適
管理費	10,082,000	9,189,933	△ 892,067		
消耗品費	500,000	562,414	62,414		
燃料費	168,000	181,940	13,940		
印刷製本費	50,000	85,500	35,500		
光熱水費	2,413,000	1,803,665	△ 609,335		
修繕料	590,000	539,794	△ 50,206		
通信運搬費	290,000	289,264	△ 736		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	284,000	332,420	48,420		
委託料	853,000	810,068	△ 42,932		
賃借料	570,000	491,531	△ 78,469		
その他	4,364,000	4,093,337	△ 270,663		
事業費（ソフト事業等）	1,826,000	989,647	△ 836,353		
一般管理費	2,068,000	2,041,832	△ 26,168		
支出計	65,152,000	67,170,117	2,018,117		適
収　支	△ 668,000	* △ 2,759,661	△ 2,091,661		適

＊収支不足額については、法人・団体会計から繰り入れられています。

総合コメント

支援内容や授産事業の工夫により、利用者及び保護者との信頼関係を維持し、また地域との交流を継続することにより、地域に根ざした施設として定着しており、総合的に安定した運営がなされ良好であると判断した。

経費については、利用者の安全・安心を優先して支出されており、総合して健全な運営をしていると判断した。自立支援法に基づく事業所に移行したので、利用者数の減少が経営に響くので、公的な役割を踏まえた上ではあるが、新たな利用者の確保について、関係機関と引き続き検討することが必要である。

平成２４年度　共栄作業所　運営状況　チェックシート①－２

項目		事業分析	適否判断
利用実績		開館日数：244日 延べ利用者7,182人(79.6%) 平成25年3月31日現在入所者数32人（定員37人） ※欠員補充については、公の施設として市内全施設の動向を注視しながら慎重に判断しているところである。 ※きめ細やかな支援を継続してきたことにより、利用者個々人の通所日数は伸びている。	適
事業収支	収入	平成24年度も、大学生の教育実習や福祉実習・老人会等のボランティアが多く参加し、職員等給食代収入が増加した。 障害者自立支援法へ移行したことによる請求事務等が煩雑なため、職員が業務に慣れるまでの間、利用者への個別支援の質を維持しつつ、授産事業の支援職員の人材育成を同時に進行させるのは、現場にとっては負担が大きい。そのため、平成24年度は職員1名を増やして運営することになった。 その人件費は、法人本部からの繰入により賄われ、事業所の収支全体のバランスとしては収入額が支出を上回る結果になった。 当該施設で人材育成を兼ねて体制強化することを目的に繰入れたもので、利用者本位の施設運営としては妥当であると判断した。	適
事業収支	支出	今年度も、主要な授産事業（さをり織り）の指導者を複数育成する目的で、施設外・県外等の研修に職員を積極的に参加させ、支援体制を充実させる取組を行っており、これに係る経費の支出も妥当であったと判断する。 時間外の増加については、障害者自立支援法の就労継続B事業所としての事務が煩雑で、昨年までこの業務に従事した職員の異動により、新たな担当者の時間外が増加したものである。事業所経営の観点からは、新たな事務・事業に取組む段階から、事務処理等のノウハウの共有化を図り、異動等にも柔軟に対応できるような施設運営をお願いしたい。 また、従来から行われてきた「一泊社会・工場見学旅行」については、公共交通機関の利用による「マナー・ルールの学習内容」を今年度も取り入れ、日頃からの訓練成果が出せるよう支援しており、集団で社会経験を積む機会として、また非日常を味わう経験として貴重なものであり、全員が元気に参加できるよう、事前に利用者と買出しを行い、当日への参加意欲を盛り上げるなど、細やかな支援の積み重ねも評価できる。 その他、日常的に外出の機会を作って、社会のルールに慣れるよう支援するのは、経費も職員の負担も大変大きいが、施設本来の目的に即した支援であり、今後も継続してほしい。 利用者の関心が高い給食調理においては、利用者の希望も取り入れながら、光熱水費の節約を徹底し効果を上げている。しかし、近隣障害施設と重複する内容でもあり、協力体制をとるなど何らかの工夫を凝らし、更なる改善をお願いしたい。 全体的には、利用者の通所及び就労意欲の維持向上に重点を置き、かつ安全に配慮しながら最大限の節減に努めるなど、良好な運営であったと判断する。	適

平成２４年度　共栄作業所　業務の履行状況　チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面・実地確認	適切に報告等されている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	地方自治法など各種法令・規程に関する書類は提出されていた	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、5/1報告　月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、5/1報告、毎月月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1予算、5/1決算、毎月書面確認	仕様書通り行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	１月～2ヶ月に1回会議・書類管理　指定管理者面接	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	毎月書面・随時実地確認	仕様書通り行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	報告・書面・月次報告	仕様書通り行われている	適
		事故等の報告書が提出されたか	随時報告・　書面確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・　書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	随時報告・　実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	随時報告・　実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・　実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に行われているか	月次報告・実地確認	清潔に清掃されていた	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	月次・実地確認	適切に管理されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	随時・実地確認	作成されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	月例会議・実地確認	パンフレット類は整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	毎月確認	ホームページの更新はされている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	―	該当なし	―
	システム管理	更新・変更は常になされているか	―	該当なし	―
		トラブルに対応したか	―	該当なし	―

総合コメント

法令等の遵守及び募集要項等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行されていた。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、各種マニュアルの作成、施設修繕、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていた。

なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び施設長会議等で行なった。

チェックシート③

平成２４年度　共栄作業所　自主事業の実施状況　チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
さをり織り作業	毎日の作業日課	利用者が縦糸と横糸を使い一枚の布を織り、ボランティアや職員がベストやマフラーに仕立てる作業を行う。展示会で実演や即売会も行う。	芸術品を彷彿させる作品の製作と展示販売で利用者の就労意欲や社会参加が促進された。また自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
点字刻印作業	毎日の作業日課	市の封筒にヨッカイチシヤクショと点字を刻印する作業	市の封筒に点字を刻印することで利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
アイトム農耕作業	毎日の作業日課	収穫作業とまぼろしの菜種油のラベル貼り作業	農作業や完成品のラベル貼りにより、利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
布ぞうり作業	毎日の作業日課	木綿の素材で、昔のわらぞうり風に編む作業	木綿をひも状にして編む作業で、利用者の根気が養われると共に、完成する喜びを感じられる事業である。	適
ビーズ作業	毎日の作業日課	細かいビーズでメガネチェーンを作成する作業	非常に細かい作業で、指先と目及び脳の協調作業としてリハビリにつながり、見た目にもきれいで楽しみながらできる。通所意欲の向上にもつながった。	適
目的別社会実習（一泊社会工場見学）	秋に1泊2日の社会見学を行う	11月15日、16日に豊田・南知多にて工場見学を行った	集団で社会見学を行うことで、日常の社会訓練とは違うルールを学ぶことができた。	適

総合コメント

施設活動支援として各種授産製品の製作、PR、販売を積極的に取り入れたことで利用者の就労意欲や社会参加が促進された。また障害者の自立支援、社会参加に関する社会啓発にもつながった。今後も利用者等のニーズを取り入れ、積極的に取り組んでいくことを期待する。

平成２４年度　共栄作業所　設備・備品の維持管理状況　チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時 指定管理者と面接	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	月次報告及び実地確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告ががなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切であった	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告ががなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告ががなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告ががなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、定期的に確認し、軽易な修繕については毎月の業務報告書及び連絡協議会で報告した。
上記業務の実施については適正であると判断する。
なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び施設長会議等で行なった。

平成２４年度　共栄作業所　サービスの質　チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		許可証は速やかに発行されたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		ホームページは見易いか	毎月　ＨＰ確認	見易いものであった	適
	受付・応対業務	担当者の接客態度は良かったか	実地随時確認	電話の対応について、市民からの苦情があったため施設に指導。以後、研修を重ねており概ね評価できる。	適
		使用者に対する指導は適切であったか	実地随時確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地随時確認	着用していた	適
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	実地随時確認	仕様書通り行われている	適
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
	清掃業務	トイレットペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	実地随時確認	清潔に清掃されていた	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地随時確認	障害物は見られなかった	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		草刈りや除草はされているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地随時確認	快適に利用できる環境となっていた	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地随時確認	適切に分別が行われていた	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適

総合コメント

各々の個別支援計画や、障害者の特性に応じた日中活動が選択できるよう、幅広い内容の授産活動を取り入れているので、その支援と評価について保護者の方々ときめ細かな連携をとっている。その結果を、日中活動の内容にフィードバックさせ、利用者一人ひとりの支援がよりよいものになるよう努力されている。この積み重ねにより、利用者の健康や家庭の問題を相談してもらえる信頼関係が樹立され、共に問題解決に向けて取り組む姿勢が見られた。

また、施設サービスに関するアンケートを継続して実施し、その結果について運営委員会を開催するなど、施設運営について利用者の意見を取り入れる努力が窺え、社会福祉協議会として、公平・公正に運用されていた。